

2017 年度日本付着生物学会・秋のシンポジウムを下記の要領で開催します。

2017 年度日本付着生物学会シンポジウム

「着生機構はどこまで解明されたか？」～化学シグナルからバイオシグナル科学へ～

(伏谷着生機構プロジェクト発足 25 周年記念)

開催日：2017 年 10 月 21 日 (土)、22 日 (日)

場所：東京海洋大学白鷹館

参加費 (事前登録、**9 月 30 日まで**) :

一般正会員 2,000 円、学生会員 1,000 円、一般非会員 4,000 円、学生非会員 2,000 円

(当日参加も受け付けますが、事前登録者以外はプラス 1,000 円となります)

懇親会：La Casa NIKI (天王洲アイル、北品川)

参加費：一般 6,000 円、学生 4,000 円 (事前登録者のみ)

## プログラム

---

### 10 月 21 日 (土)

・はじめに

13:00-13:20 廣田洋 (旧伏谷着生機構プロジェクト技術参事)

・幼生着生研究の進展

13:20-14:10 Anthony S. Clare (Newcastle University)  
Keynote "Settlement and metamorphosis of barnacles"

14:10-14:20 Coffee Break

14:20-14:50 サトイト・シリル・グレン (長崎大学)  
マガキ幼生の付着過程について

14:50-15:20 山下桂司 (セシルリサーチ)  
光の波長と幼生の行動及び着生分布

15:20-15:50 清水克彦 (鳥取大学)  
着生とバイオミネラルイゼーション

15:50-16:00 Coffee Break

16:00-16:30 松村清隆 (北里大学)  
フジツボの着生シグナル

16:30-17:00 岡野桂樹 (秋田県立大学)  
アカフジツボのキプリス幼生の付着と幼生セメント

18:00-20:00 懇親会 (天王洲 La Casa NIKI)

## 10月22日(日)

### ・着生を制御する化学物質とその作用機序

- 9:00- 9:50 沖野龍文(北海道大学)  
Keynote 付着阻害物質研究の進展
- 9:50-10:20 北野克和(東京農工大学)  
3-Isocyanothionellin をリード化合物とした付着阻害活性に関する構造-活性相関の考察と新規付着阻害物質の創製
- 10:20-10:30 Coffee Break
- 10:30-11:00 梅澤大樹(北海道大学)  
有機合成から着生問題へのアプローチ: 着生機構解明のためのプローブ化を志向した着生阻害天然物の合成研究
- 11:00-11:30 中西 剛(岐阜薬科大学)  
核内受容体を介した有機スズ化合物の生態影響~着生機構への関与の可能性~
- 11:30-13:00 Lunch

### ・新しい手法の導入と着生研究へのヒント

- 13:00-13:30 笹倉靖徳(筑波大学)  
固着により開始されるホヤの変態を司る分子メカニズム
- 13:30-14:00 Wong Yue Him(秋田県立大学)  
The importance of integrating "Omics" approaches in the study of fouling organisms
- 14:00-14:30 小林元康(工学院大学)  
走査フォース顕微鏡を用いたキプリス幼生付着器官の水中凝着力測定

### ・まとめと今後の展望

- 14:30-14:50 伏谷伸宏(旧伏谷着生プロジェクト総括責任者)

---

1991~1996年に展開された新技術事業団(現科学技術振興機構JST) ERATOの伏谷着生機構プロジェクトでは、「海洋付着生物幼生の着生現象を主に化学情報伝達の面から探る」研究が5年間集中的に実施された。その研究成果は国内外から注目され、その後の着生研究、防汚関連研究に大きな影響を与えてきた。プロジェクト発足から四半世紀が経過した今日、着生機構に関連した多くの研究が様々な分野で進展してきている。今回のシンポジウムでは、それらの中から注目の研究を紹介し、狭義の付着生物研究の枠を超えて今後の海洋生物学、海洋化学、及びこの分野における学際研究の方向性を展望したい。

着生研究に関心のある研究者だけでなく、防汚技術開発に関わる技術者、海洋生物学一般に興味を持つ学生など、多くの方の積極的な参加をお待ちしております。(日本付着生物学会)

## 2017 年度日本付着生物学会シンポジウム

「着生機構はどこまで解明されたか？」～化学シグナルからバイオシグナル科学へ～

(伏谷着生機構プロジェクト発足 25 周年記念)

### 参加申込書

(2017 年 10 月 21 日(土)・22 日(日) 開催)

氏名: \_\_\_\_\_ 会員種別(番号を○で囲んで下さい)

1. 正会員 2. 学生会員 3. 団体会員 4. 非会員 5. 非会員学生

所属機関名: \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_

FAX : \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

参加形態(○で囲んで下さい)

・ シンポジウムに : 1. 参加する。 2. 参加しない。

・ 懇親会に : 1. 参加する。 2. 参加しない。

参加費 (事前登録、**9 月 30 日まで**) :

一般正会員 2,000 円、学生会員 1,000 円、一般非会員 4,000 円、学生非会員 2,000 円

(当日参加はプラス 1,000 円となります)

懇親会 : La Casa NIKI (天王洲アイル、北品川) 参加費 : 一般 6,000 円、学生 4,000 円 (事前登録者のみ)

なお、参加費は当日シンポジウム受付にて徴収いたします。

その他ご意見、ご希望

---

---

**\* 参加者一名につき一枚を下記担当宛にお送り下さい。(事前登録: 9 月 30 日締め切り)**

日本付着生物学会事務局

E-mail: [sosj-post@bunken.co.jp](mailto:sosj-post@bunken.co.jp)

FAX: 03-3368-2822

郵送: 〒162-0801 新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

日本付着生物学会事務局